

21世紀の技術開発と人材の養成について

中部電力(株) 元技術顧問
名古屋工業大学 名誉教授
工学博士

吉田 彌智

Hirotoyo Yoshida
Prof. Dr.

冷戦構造が崩壊し、わが国の社会は大きく変化した。すなわち急速な高度情報化技術の発展による社会の国際化、情報化である。この事はわが国の産業に特に大きな影響を与えている。科学技術の急速な発展によって、人類は多くの工業製品を造り出し、また社会基盤を構築してきたが、反面、地球環境や資源・エネルギー問題や、社会における人間疎外の風潮等、21世紀に多くの解決すべき点も明らかになってきた。

我が国においては、バブルの崩壊と発展途上国の追いあげにより不景気になり、日本中が元気がない状態になっている。活力のある日本を再構築し若者が希望を持って働くことができるには、科学技術を発展させ、それを通じて産業を発展させる以外にはないのである。

21世紀の科学技術の目標は()地球と調和した人類の共生()安心して暮らせる潤いのある社会の構築()知的ストックの拡大」にあると言われている。

持続的な人類の発展と地球環境の保全、他の生物との共生等のため、環境問題や資源エネルギー問題は、21世紀には必ず解決しなければならない大きな課題である。今まで有限な天然資源を利用して種々の製品を造り、その結果大量の使い捨てや産業廃棄物を発生させてきた。これらのものをいかにリサイクルして資源とするか、また資源の生産性を高め廃棄物をゼロとする生産システムを構築することができるかは、人類の生存に大きな影響を与えるものであり、地球環境の保全のためには極めて重要なことである。

未来の新しい技術・産業は人々が活力を持って、安心して暮らせる社会の構築と持続的な環境を守るようなものでなくてはならない。

デジタル技術による高度情報基盤の構築とその活用による情報産業。クローズドシステムによる地球環境を創造する環境産業。時代と社会に対して新しい価値と文化を創造するデザイン産業、国民のニーズに適合した新たな独創技術の開発による新しい物造り産業。人間中心主義の視点により、物やサービスを提供し、高齢化社会にも適応できる社会の構築を目指す人間工学産業、国際



交流や文化の創造、社会にうるおいを与える観光・文化産業等ハードとソフトが融合した新しい産業が、21世紀の主流の産業となっていくであろう。

この様に新産業にスムーズに変化していくには、技術開発がきわめて重要になってくる。

未来の新しい技術・産業は人々が活力を持って安心して暮らせる社会の構築と、持続的な環境を守るような技術・産業を育てなければならない。これらを解決するには人類のみが有する科学技術や、文科系といわれる学問の成果も取り入れることが必要となる。

我が国が不況から脱し活力ある社会を再構築するには、研究開発に力を注ぐ以外にはないと考えられる。

我が国は独創性・創造性のある研究者・技術者が強く求められるようになってきた。

人類社会にとって何が最も重要かを把握しうる人材が、特に研究者・技術者に求められている。新技術を企画・開発して優れた成果を生み出していくには、豊かな感性と人間性が必要である。そのためには専門外の歴史、哲学、心理学などの文科系の学問を学ぶこともきわめて重要である。特に人類の歴史から社会や国の行く末を学ぶことが必要となる。

今、企業の倫理が問われているが、技術者それぞれが強い倫理観を持つことが必要である。また技術者として最も大切な事は、個人個人の人格と能力です。21世紀は個を確立した上、個人としての哲学と多様な価値観を理解できる幅広い能力が必要である。

ことわざに「敬天愛人」というのがある。天を敬い、人を愛すと言うことである。我が国も2000年以上の長い歴史の中で人を愛し、自然を愛し、他の動物や自然と共に生きる生活を基本としてきた。21世紀の科学技術は自然を征服するのではなく、自然と共に生きる技術でなくてはならない。

我が国独自の技術を開発し、世界の科学技術と平和に貢献しつつ、品格のある日本になるよう希望するものである。

平成10年4月 1日 中部電力(株)技術顧問に就任
平成14年3月31日 退任